

# 水害時の衛生対策と消毒方法

南相馬市では家屋等の浸水被害時の衛生対策の一環として、消毒薬を準備しています。消毒は十分に清掃して乾燥させた後、必要に応じて消毒するようにしてください。

## 1 浸水被害の衛生対策

清掃と乾燥が最も重要です。

水が引いたら・・・

- 手順1 不要なものや汚泥などを片付ける。
- 手順2 浸水した場所を水で洗い流すか水拭きをして、よく乾かす。
- 手順3 必要に応じて消毒薬を使用する。

### 清掃時作業時の注意

#### ケガの防止



手袋や長袖の服を着用しましょう

#### 土埃対策



ゴーグルやマスクを着用しましょう

## 2 消毒薬の使用について

### (1) 床上浸水の場合

①床・家具類用の消毒液を作る場合  
清掃と乾燥の後、次のとおり消毒を行ってください。

#### 【薄め方】

消毒薬\*を水でうすめて0.1%液をつくります。  
※ピューラックスなど(次亜塩素酸ナトリウム濃度6%)

①床・家具類用の消毒液(0.1%)  
を作る場合  
・消毒薬50ml (容器のキャップ約4杯)



6%

\*①0.1% 消毒液

水 3ℓ  
(500mlのペットボトルで6本分  
又は2ℓのペットボトルで1.5本分)

消毒薬を扱う際は、  
ゴム手袋を使用し、  
皮膚や目にかからない  
ように注意して  
ください。



#### 【使い方】

床・家具類用の消毒液(0.1%)に浸した布などでよく拭く。  
(金属や木面などで色あせが気になる場合は水で2度拭きする)

②食器・流し台等用の消毒液を作る場合  
清掃と乾燥の後、次のとおり消毒を行ってください。

#### 【薄め方】

消毒薬\*を水でうすめて0.02%液をつくります。  
※ピューラックスなど(次亜塩素酸ナトリウム濃度6%)

②食器・流し台類用の消毒液(0.02%)  
を作る場合  
・消毒薬10ml (容器のキャップ約1杯)



6%

\*②0.02% 消毒液

水 3ℓ  
(500mlのペットボトルで6本分  
又は2ℓのペットボトルで1.5本分)

消毒薬を扱う際は、  
ゴム手袋を使用し、  
皮膚や目にかからない  
ように注意して  
ください。



#### 【使い方】

食器用洗剤と水で洗った後、食器・流し台等用の(0.02%)消毒液に5分以上漬けその後水洗いして乾燥させる。

## (2) 家の周囲や床下の浸水の場合

土砂等を取り除いた後、水道水で洗い、しっかり乾かすことが重要です。

**屋外（床下や庭など）**では消毒は**原則不要**です。

必要に応じて、家屋の周囲や床下などに消毒薬（次亜塩素酸ナトリウム濃度6%）を使用する場合は、次のとおりの消毒を行ってください。

### ① 家屋の周囲や床下用の消毒液を作る場合

清掃と乾燥の後、必要に応じて次のとおり消毒を行ってください。

#### 【薄め方】

「(1) 床上浸水の場合①床・家具類用の消毒液を作る場合」と同様の水で薄めた消毒液を使用できます。

消毒薬※を水でうすめて0.1%液をつくります。

※ピューラックスなど（次亜塩素酸ナトリウム濃度6%）

※消毒薬50mlに水を3ℓ入れて0.1%消毒液とします。

#### 【使い方】

必要に応じ、家屋の周囲や床下用の消毒液(0.1%)を散布する。（じょうろなどを使用する場合は、濡れる程度に散布する。）

その後、風通しをよくしてそのまま乾燥させる。（噴霧器の使用は吸い込みの危険があるのでお勧めしていません。）

消毒は汚れが残っていたり、濡れている状態で行うと十分な効果を発揮することができませんのでご注意ください。

#### 【注意】

消毒液は誤って飲むことのないよう、ペットボトルへの移し替えはしないでください。

また、他の消毒液や洗剤と混ぜないでください。

※市販されている次亜塩素酸ナトリウム（ハイター、ブリーチなど）も消毒に使用できます。この場合、次亜塩素酸ナトリウム濃度は5%程度のため、床・家具類の場合（0.1%）はハイター60ml＋水3ℓ、食器・流し台等（0.02%）の場合はハイター12ml＋水3ℓになります。

※消石灰の取扱いに注意しましょう。

厚生労働省の指導により、浸水した家屋等の床下や庭などの衛生対策として、消石灰の配布や散布は、現在は行っていません。

肌や目を痛めるため、使用には十分な注意が必要です。

消石灰は、水に溶けると強アルカリ性となるため、肌や目に触れると炎症を起こします。使用する場合には、目や皮膚につかないように、また、口に入らないよう十分注意してください。